

知の構築技法

責任者名：今井 健一(細菌学 教授)

学期：前期

対象学年：2年

授業形式等：演習

◆担当教員

山崎 洋介(解剖学Ⅱ 准教授)

藤田 智史(薬理学 准教授)

鈴木 直人(生化学 教授)

今井 健一(細菌学 教授)

坪井 美行(生理学 専任講師)

浅野 正岳(病理学 教授)

武市 収(歯科保存学Ⅱ 准教授)

菅野 直之(歯科保存学Ⅲ 准教授)

◆一般目標 (GIO)

この教科では、組織学や病理学、細菌学、生化学、生理学、薬理学を担当する教員がそれぞれの専門分野における“炎症に関連する講義”を行う。各分野の講義を聴講しながら、その内容について各自がノートテイキングの演習を行う教科である。トレーニング的に何度も反復することで、理解すべき知識をノートテイキングによって自ら収集し、整理・体系化できるように“技法(わざ)”を身につけるのが目的である。

◆到達目標 (SBOs)

理解すべき知識を自ら収集し、整理・体系化できるように技法を身につける。

◆評価方法

定期試験は行わない。提出物を基礎データとして、成績評価表示 S, A, B, C による相対評価を行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
山崎 洋介	月曜日 12:00~13:00 場所：1号館 2F228		
藤田 智史	木曜日 17:00~19:00 場所：1号館 3F301		
鈴木 直人	月-金曜日 12:00~13:00 場所：1号館 3F309		
今井 健一	金曜日 17:00~18:00 場所：1号館 3F323		

坪井 美行	水曜日 17:00~18:00 場所：1号館 4F412		
浅野 正岳	月曜日 17:00~18:00 場所：1号館 2F225		

◆学修目標

この教科では、組織学や病理学、細菌学、生化学、生理学、薬理学を担当する教員がそれぞれの専門分野における“炎症に関連する講義”を行う。各分野の講義を聴講しながら、その内容について各自がノートテイキングの演習を行う教科である。トレーニング的に何度も反復することで、理解すべき知識をノートテイキングによって自ら収集し、整理・体系化できるように“技法(わざ)”を身につけるのが目的である。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

教科書： 指定しない。本教科の趣旨にもとづいて、プリント配付も最小限に留める。

参考書： 指定しない。更なる学習のために担当者が授業時に紹介することがある。

◆準備学習(予習・復習)

演習の趣旨に照らし準備学習は不要だが、授業時間中は“ひたすら書く”こと。

◆準備学習時間

学生間での指摘事項について確認する時間を作ること。

◆予定表

【スキルアップ <2回~13回>】

この演習ではスキルアップ・トレーニングを都合6セット実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、2週で2件の提出物 CKG が生じる(6セットでは合計12件)。

[第1週]

- ① 担当者による“教材としての講義”(50分前後)
- ② 学生は、配付される所定のノートテイク用紙 [CKG-1] に聴講内容を記録
- ③ 聴講後、取ったノートを学生間で交換し、記載内容について互いにチェックし、改良点を列挙
- ④ 学生によるアドバイスを元に、自分で改良点を記載
- ⑤ 担当者は、CKG-1 を回収して次週までに精査

[第2週]

- ⑥ 第1週に提出されたノートの中で参考となるもの (Selected CKG-1) を、学生全員に電子配信
- ⑦ 学生が取ったノート CKG-1 を返却。精査した結果については担当者が学生に総合講評
- ⑧ 学生は、Selected CKG-1 をもとに、課題(テスト)に取り組んで解答 [CKG-2]
- ⑨ 担当者は、第2週の CKG-2 を回収して後日採点

【講演演習 <14回、15回>】

この演習では講演の聴講を2度実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、1講演につき、「学生が取ったノート、聴講サマリー」という2件の提出物、すなわち CKG-3,4 が生じる(2講演で合計4件)。

- ① 講演内容をノートテイク [CKG-3]
- ② 学生と演者での質疑応答
- ③ 学生は、講演内容について聴講サマリー[CKG-4]をまとめる (40分前後)。
- ④ 担当者(&演者)は、CKG-3 と CKG-4 を回収して後日採点

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.5	6 ～ 7	ガイダンス 教材講義のテーマ： 本講のシステムとねらい		今井 健一	
2		4.12	6 ～ 7	スキルアップ I 第1週 教材講義のテーマ： 炎症に関する細胞とその位置づけ		山崎 洋介	
3		4.19	6 ～ 7	スキルアップ I 第2週 教材講義のテーマ： 炎症に関する細胞とその位置づけ		山崎 洋介	
4		4.26	6 ～ 7	スキルアップ II 第1週 教材講義のテーマ： ケミカルメディエーター		鈴木 直人	
5		5.2	6 ～ 7	スキルアップ II 第2週 教材講義のテーマ： ケミカルメディエーター		鈴木 直人	
6		5.17	6 ～ 7	スキルアップ III 第1週 教材講義のテーマ：		今井 健一	

				マ： 感染症と炎症－ 微生物 v s 免疫－			
7		5.24	6 ～ 7	スキルアップⅢ 第2週 教材講義のテーマ： 感染症と炎症－ 微生物 v s 免疫－		今井 健一	
8		5.31	6 ～ 7	スキルアップⅣ 第1週 教材講義のテーマ： 炎症の形態学的分類とその特徴		浅野 正岳	
9		6.7	6 ～ 7	スキルアップⅣ 第2週 教材講義のテーマ： 炎症の形態学的分類とその特徴		浅野 正岳	
10		6.14	6 ～ 7	スキルアップⅤ 第1週 教材講義のテーマ： 痛みの発生機構と炎症		坪井 美行	
11		6.21	6 ～ 7	スキルアップⅤ 第2週 教材講義のテーマ： 痛みの発生機構と炎症		坪井 美行	
12		6.28	6 ～ 7	スキルアップⅥ 第1週 教材講義のテーマ：		藤田 智史	

				抗炎症薬			
13		7.5	6 ～ 7	スキルアップVI 第2週 教材講義のテーマ： 抗炎症薬		藤田 智史	
14		7.12	6 ～ 7	講演聴講 VII 講演テーマ： 歯髄炎と根尖性歯 周炎の病因と治療		武市 収	
15		7.19	6 ～ 7	講演聴講 VIII 講演テーマ： 歯周病と全身の健康		菅野 直之	

